

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Aug.2019

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

世界各地で異常気象が続いている。7月は欧州が熱波に見舞われ広い範囲で気温40度超を記録した。米海洋大気局の発表では7月は観測史上最も暑い月だったとのこと。地球温暖化の傾向が顕著に表れたと説明している。1時間で街を川に化す滝のような雨、建物を揺さぶるほどの凄まじい雷鳴、直径500m超の巨大竜巻、ゴルフボール大のヒョウ、そしてグリーンランドでは氷原を走る犬ぞりの光景が一変する。遠い未来を懸念した話ではない。今まさに起きていることである。目に飛び込んでくるさまざまな光景はフィクションではないのである。

サンシン電気株式会社 取締役
加来 孝

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

先日ISO14001の外部審査に出席しました。ISO14001関連のマニュアル類を読んで審査に望みましたが、審査者の「ISO用語」にテンパってしまい、満足な受け答えが出来なかった・・・。(T.S.)

SANSHIN HongKong

Bring your own container for drinks and food. Some of the restaurants will provide discount to the people who bring own container to encourage take-away food reduce the usage on non-recyclable materials. (B.L.)

CSI

フィリピンでデング熱が流行してます。発病する確率は低いです。(CSI人員発症者無し) デング熱に掛からないための対策は蚊に刺されないこと。外出時は虫よけクリームやスプレーを使う用作者者に注意を行いました。(K.S.)

SANSHINWest

家電製品の中で最も電力を使用している冷蔵庫。冷蔵室内は冷気が循環するよう整理し食品を配置すれば無駄な開閉をせずに済み、使用電力の削減や消費期限切れの食品ロスも削減できます。逆に冷凍室は食品同士が保冷しあうよう隙間無く入れて冷やす効率を高めましょう。(N.K.)

SHINKOWA

梅雨が明け連日猛暑が続いております。工場の玄関先に暑さのせいか、カブトムシが瀕死の状態で見つけたので保護して夕方まで室内に置いていました、その後、元気になったので外に出して多分無事に逃げて行ったと思われます。虫にも辛い気候なのでしょうかね。(M.N.)

SC2

今年は長雨で部屋干しが多かったですが、粉石鹼+酸素系漂白剤+ホタテの貝殻粉末で洗濯すると、あの独特な匂いがしません！室内にふわりと漂う甘い石鹼の香りで癒されました。粉石鹼は環境に優しく、ホタテ粉末は加齢臭にもいいそうで(笑) Wでお勧めです。(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

運を作る習慣

成功する人たちはみな、自分の力だけで成功しているわけではありません。その過程では、必ず「運」を味方につけています。習慣とは、思考や行動をルール化することです。少しの「習慣」として日常に取り入れることで運を味方にし、成功することができます。

■「可能思考」で考える

常に「どうすればできるのか」という可能思考で考えます。そのために日常の中に無意識に潜むマイナスの要素を排除していくのです。

■「コンフォートゾーン」を飛び出す

慣れ親しんだ居心地のいい場所は、人を成長させません。「コンフォートゾーン」を飛び出し、自分を磨ける環境に身を置くことが欠かせません。常に刺激を受け続けることが必要です。

■「お金への罪悪感」をすてる

「生きたお金の使い方」をすること。「空間と時間」を買うと考えれば費用対効果は決して低くありません。わずかな視点の変化で、無駄づかいが生きたお金の使い方が変わります。

■行動を重視する

PDCAサイクルの中でも、優先すべきは「Do（実行）」と「Check（評価）」。平行して「Act（改善）」しながら、「Plan（計画）」を作り上げるのです。

■日常を「ルール化」する

見落としがちな毎日の習慣にも意識を向け、運気を上げるための新しいルールを設けましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

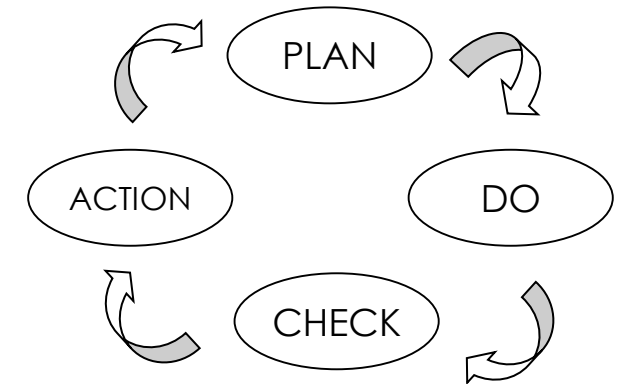
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



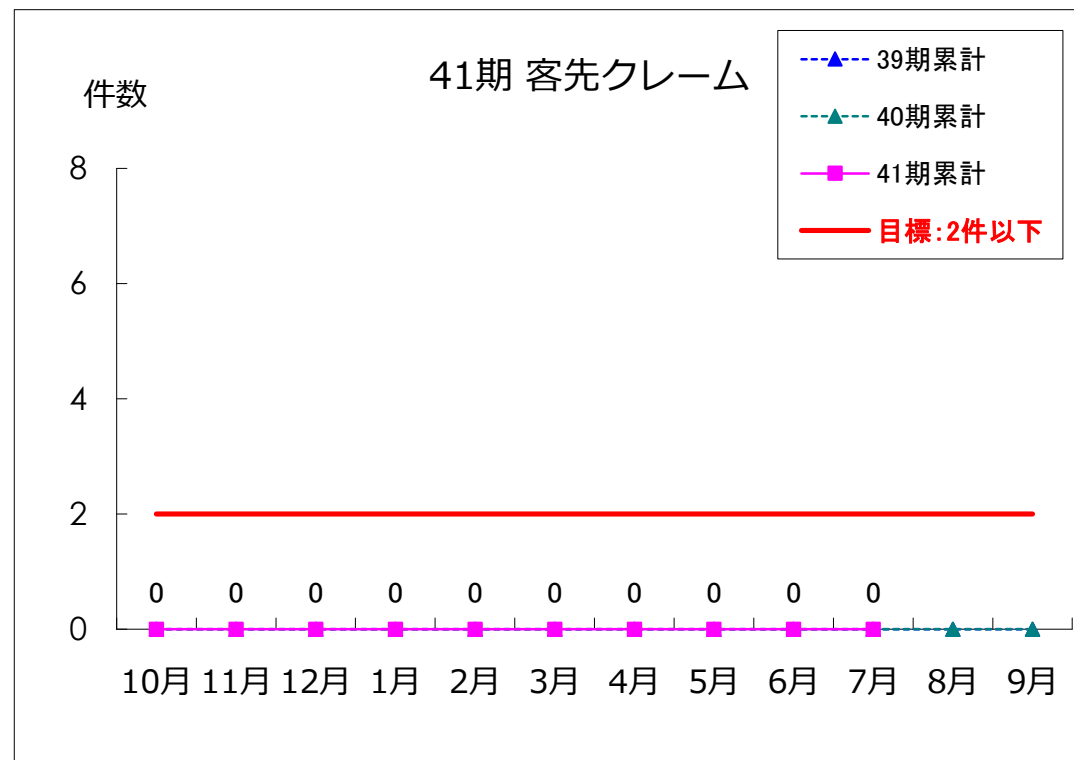
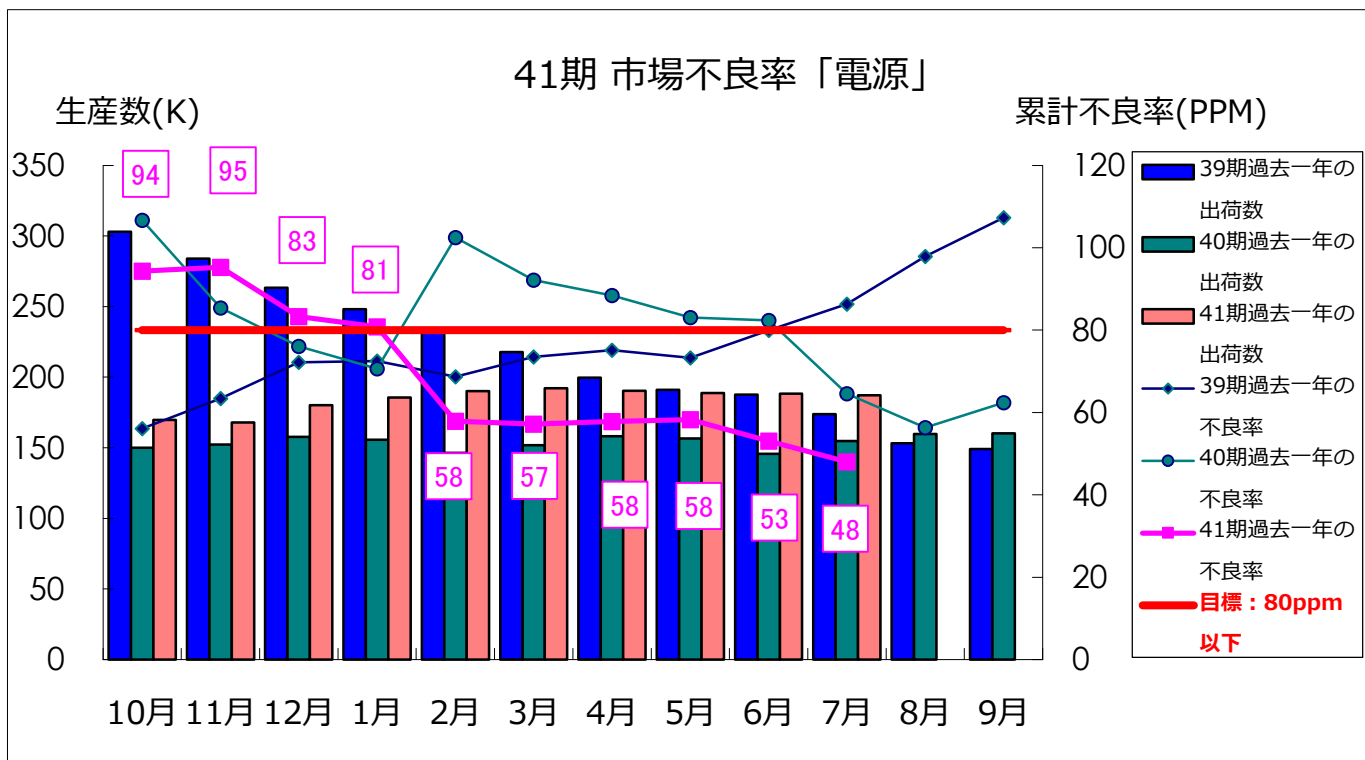
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

41期の累計不良率は、48ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 9件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 世界が注目する「ごみゼロ」の町とは？ 徳島県上勝町に学ぶ、美しい暮らしのつくりかた

四国のなかで最も小さな町。徳島県上勝町は、2000人をきった人口の2割以上が80歳以上、60歳以上を総計すると全体の半分をも占めるといふ、過疎高齢化地域です。決してアクセスが良いわけでもありません。

しかし、今、「視察」を目的に、年間2500～2600人が国内外から訪れるのだそうです。視察団は、なんと、経済面だけでなく精神面での豊かさを大切にする指標GNH（国民総幸福量）を唱えたことで知られるブータン王国からも。

彼らは、上勝町の一体何を見にやってくるのでしょうか。

「葉っぱの町」「ごみゼロの町」というとピンとくる方もいるかもしれません。上勝町は料亭などの料理に添えられるつまものの販売を通して、いきいきと働くおばあちゃんたちの姿や町ぐるみでのごみゼロの取り組みなどが度々テレビでも紹介され、熱い視線を浴びている町なのです。上勝町は、平成15年9月19日に、未来のこどもたちにきれいな空気や美味しい水、豊かな大地を継承することを目的とし、「ごみゼロ（ゼロ・ウェイスト）宣言」を日本で初めて発表しました。その宣言に盛り込まれている内容は以下のとおりです。

■ 宣言文

1. 地球を汚さないひとづくりに努めます！
2. ごみの再利用・再資源化を進め、2020年までに焼却・埋め立て処分をなくす最善の努力をします！
3. 地球環境をよくするため世界中に多くの仲間を作ります！

思わず、「むずかしそう…」と尻込みしてしまうストイックな文章が並びます。ごみの分別も、燃えるごみと燃えないごみの2通りしか無い地域もあるなかで、上勝の分別数はなんと34！分別数の多さは日本一なのだそうです。

今月のTOPICS

□ 美しい町の保ちかた

34にも分別されるごみ。上勝町では、収集車でごみの回収はしていません。その代わりに、町じゅうのみなさんが、各自ごみをゼロ・ウェイストの拠点である「ごみステーション」へ持ち込みます。そして、ごみステーションでは、ごみ分別に納得して協力してもらうために、運搬、焼却、灰の埋め立てに至るまでのコストをしっかりと算出し、数字でわかるように記しています。34分別を行う場所には、ごみ見本やわかりやすいイラストや数字での表示が掲げられているため、子どもからお年寄りまで楽しみながら参加できるような仕掛けになっています。



また、ごみステーションには、子どもが成長して着られなくなってしまった子供服など、「持ち主にとっては不要になってしまったけれど、まだまだ使える物たち」がずらりと並んだリユース推進拠点、「くるくるショップ」も併設しています。このショップは、町内の人だけではなく、この町を訪れた人々で欲しい人が自由に持ち帰ることができるそうです。



サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

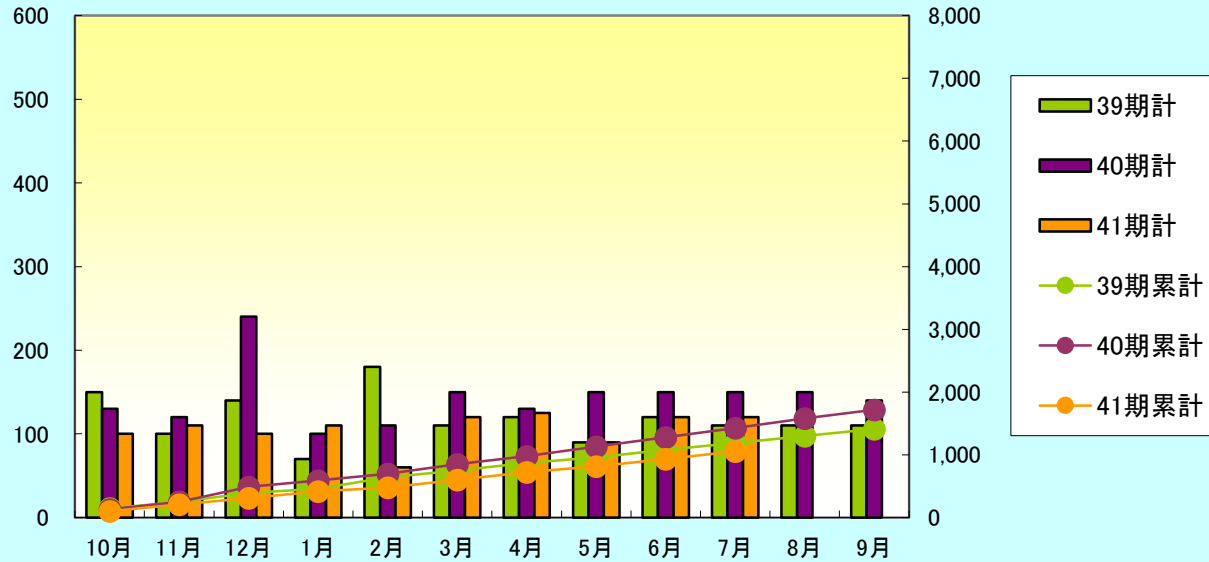
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

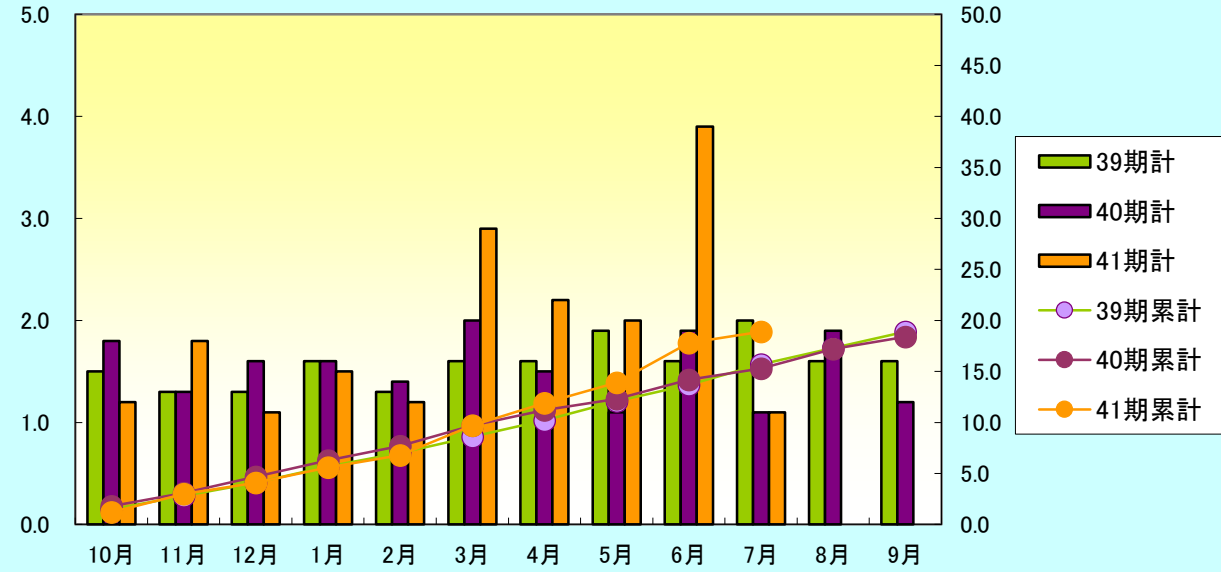
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

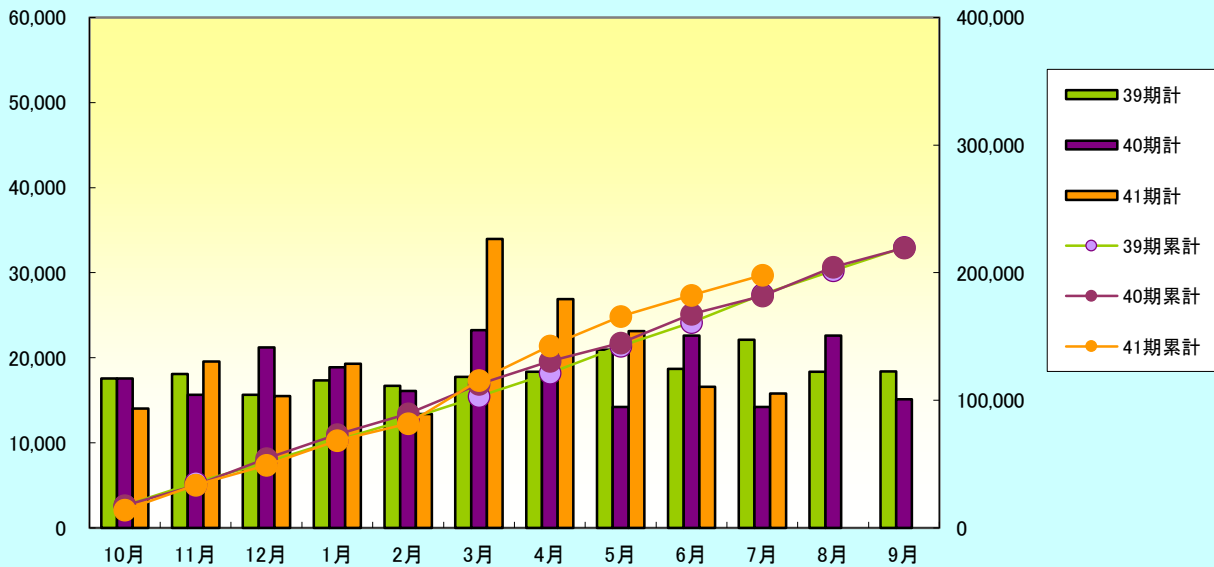
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

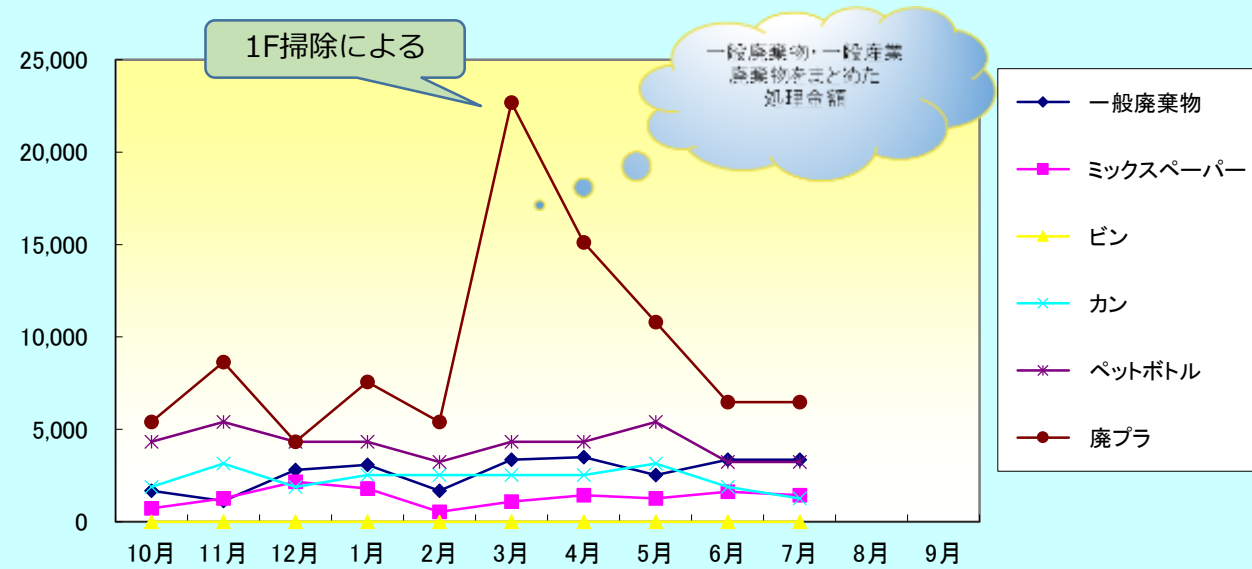
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



41期 廃棄物処理金額

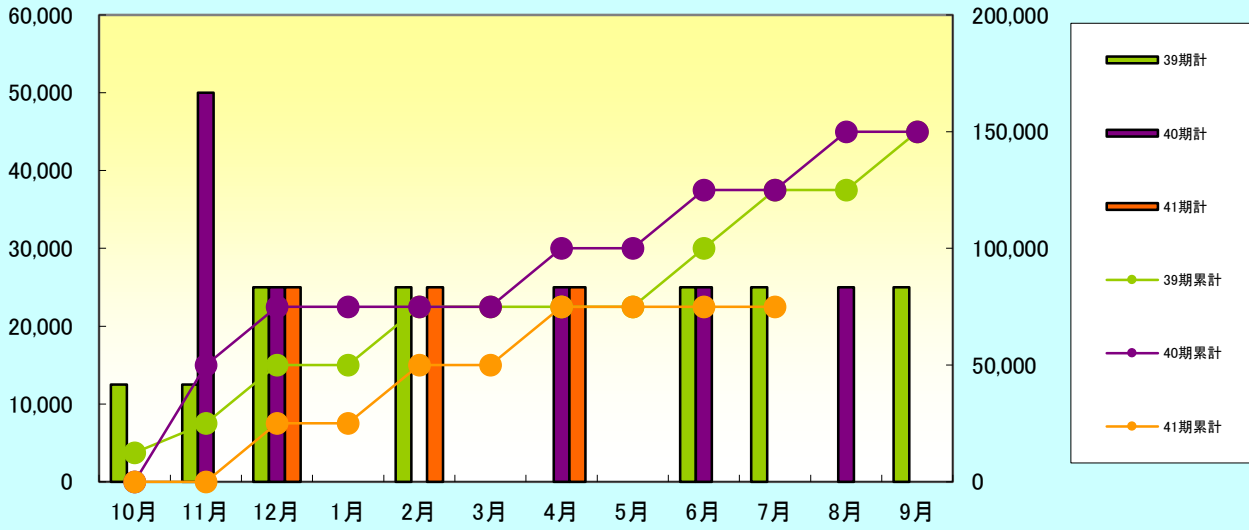
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

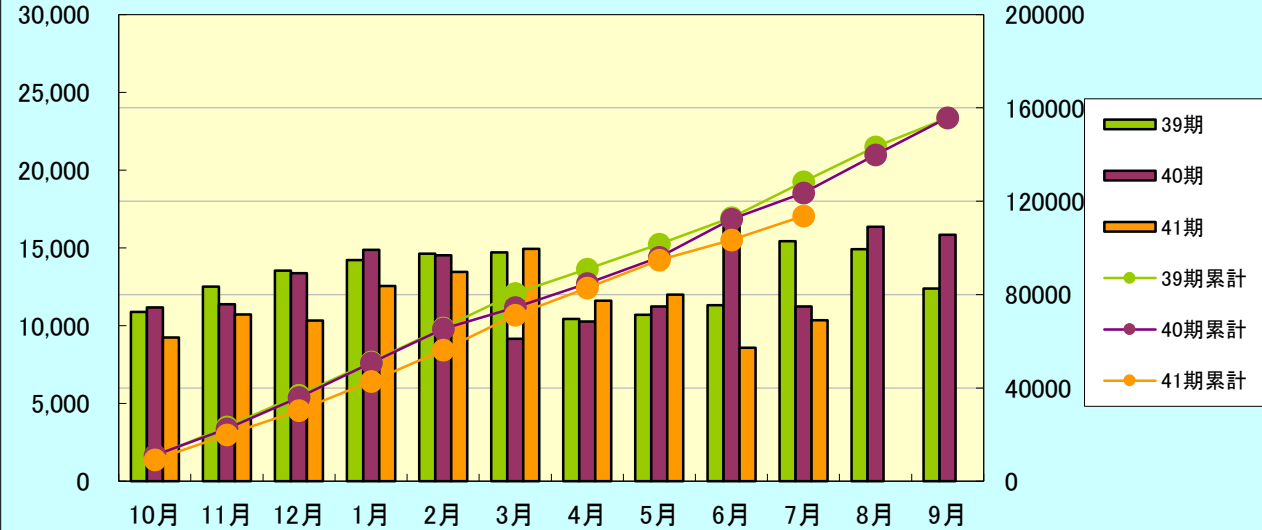
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

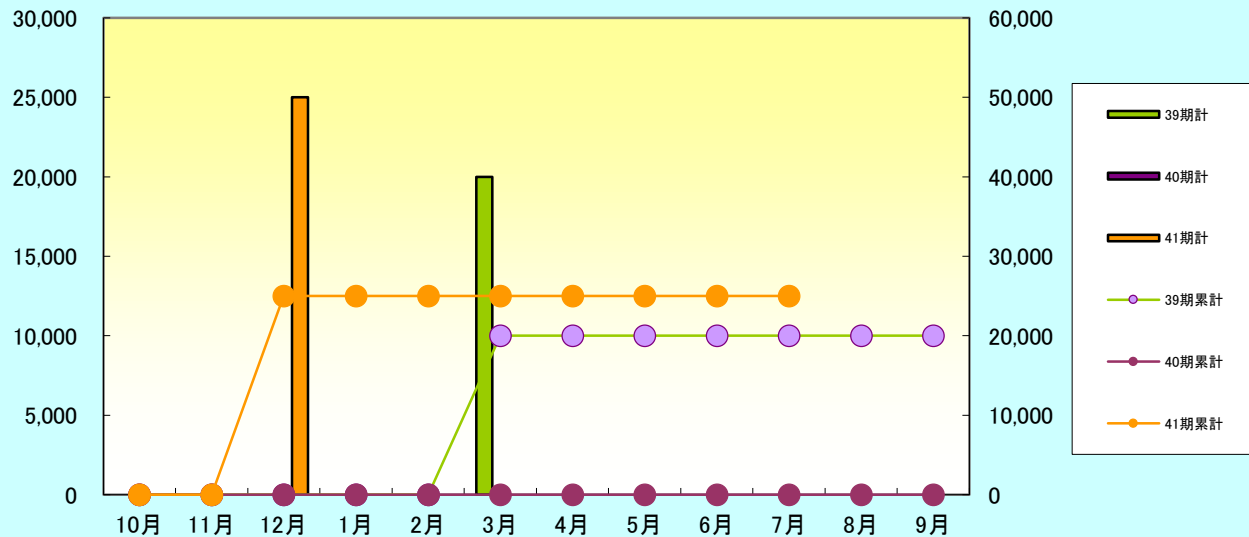
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

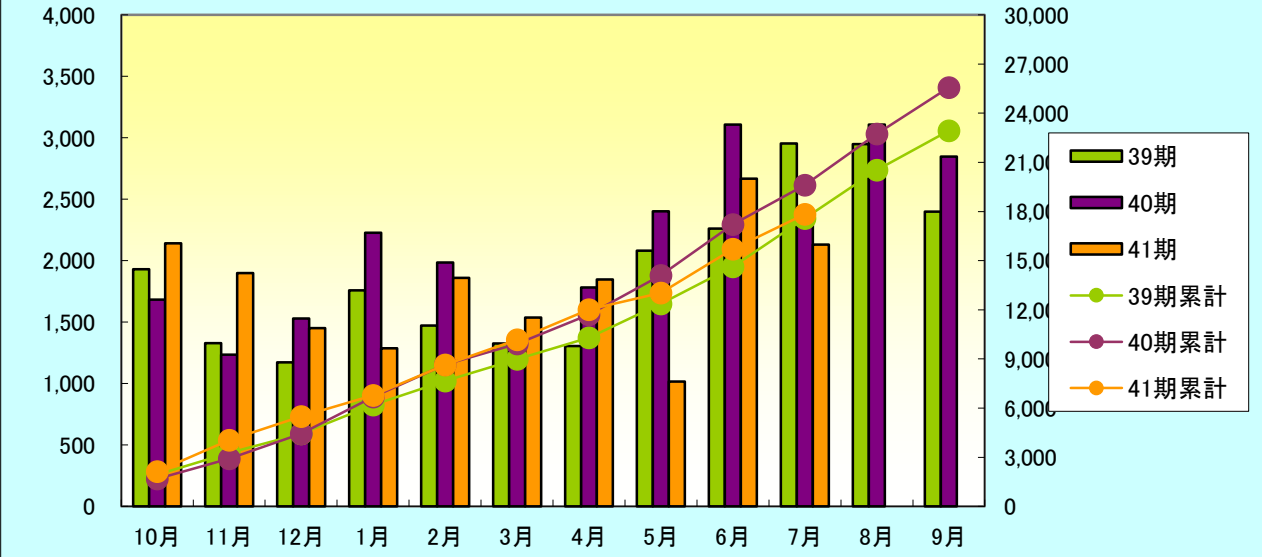
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

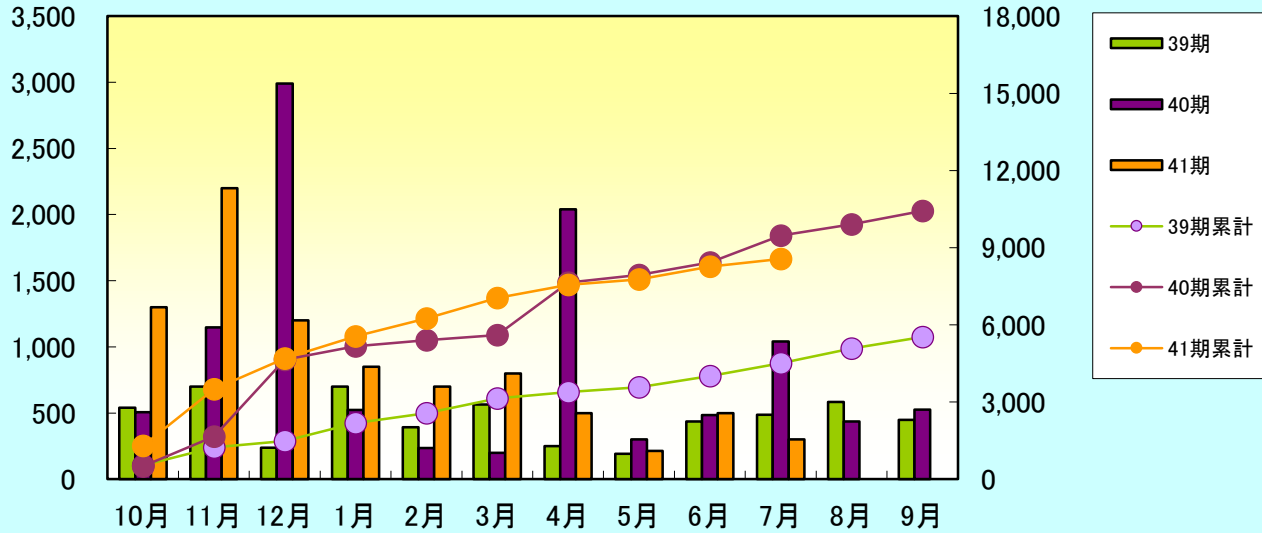
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

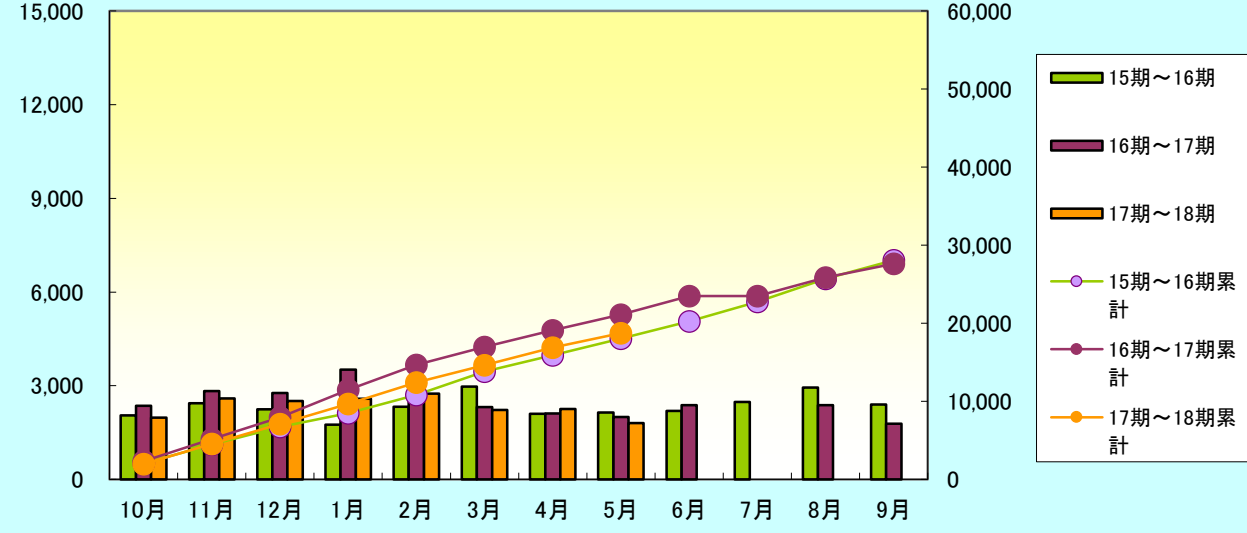
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

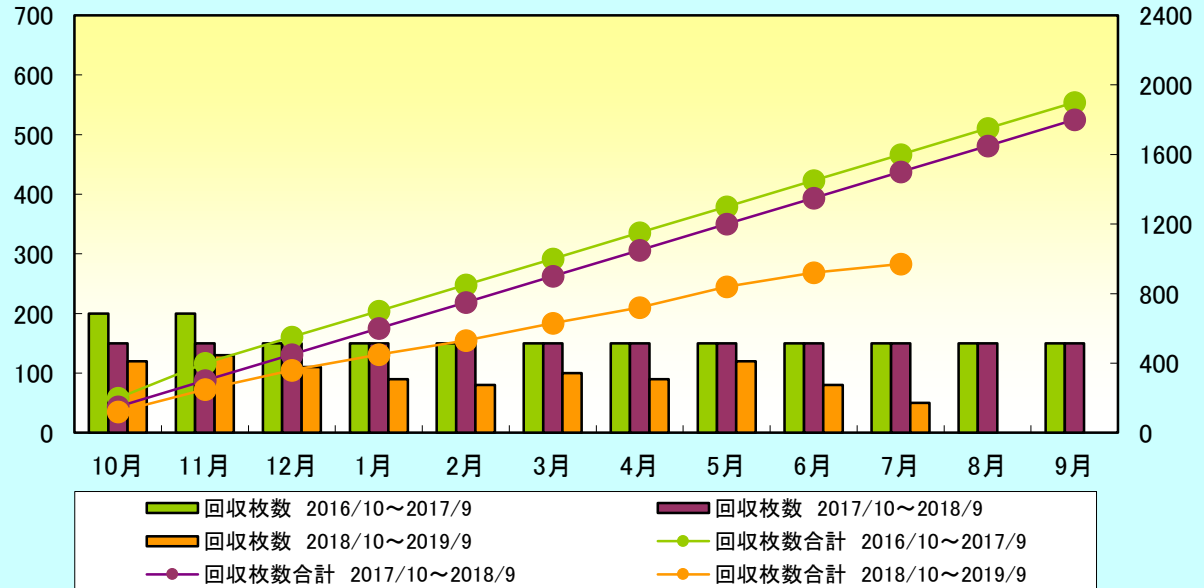
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

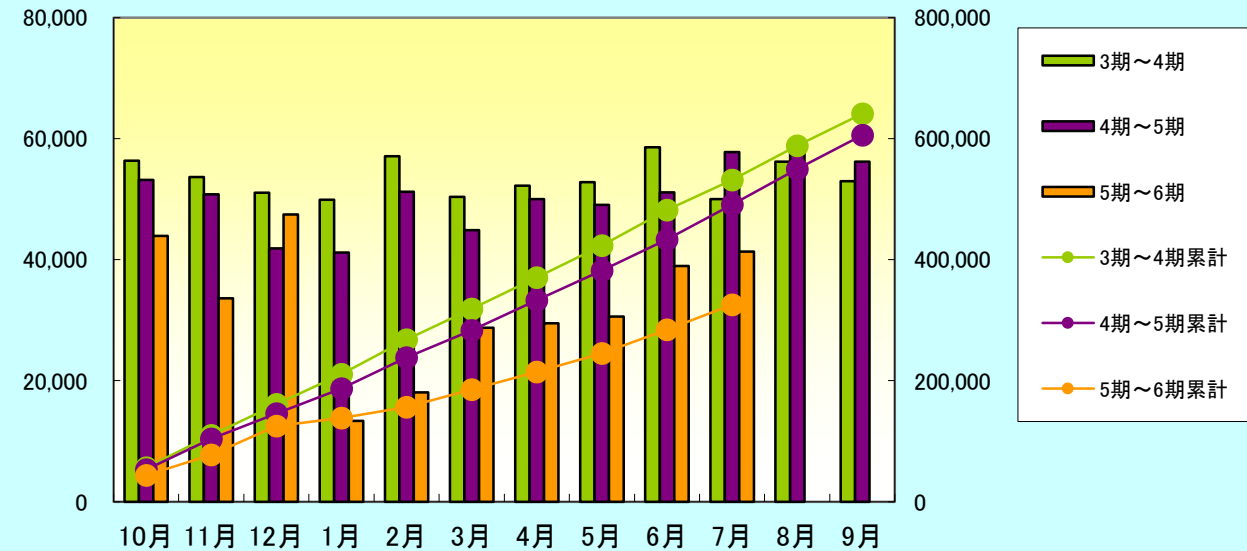
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

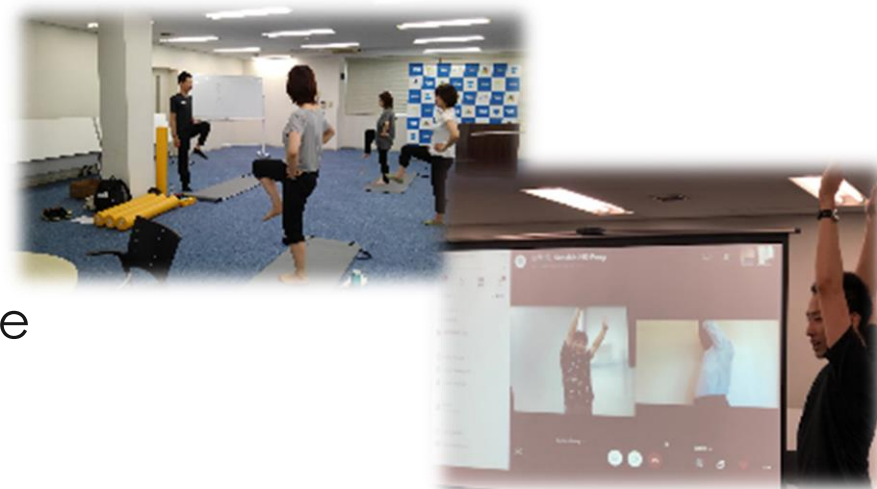
今月のTOPICS

●サンシン大学『健康筋力養成コース』がスタートしました！

サンシン大学では、「健康経営セミナー」の一環として、NSCA認定コンディショニング&ストレングススペシャリスト、JBCプロボクシングC級ライセンスを保有されているパーソナルトレーナー徳岡 忠司 氏を講師にお迎えし、『健康筋力養成コース』を2019年7月から毎月1回開講スタート致しました。

日頃感じている運動不足や肩こり・冷え性などの不調を、プロのトレーナーに指導頂くことで、解消・改善につなげ、更には、運動習慣、自身の体を慈しむことを習慣化することを目的としています。

第1回目（7月）、第2回目（8月）共に、海外拠点からのSkypeでの参加者も含め、講師と共に受講生全員が体を動かすことで楽しい講義となっています。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（7月参加人数：延べ7名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ

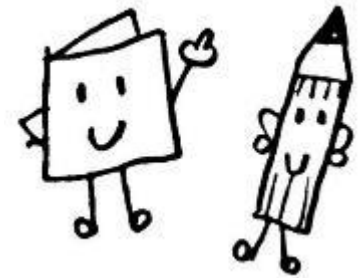


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービス実施（女性を中心に10名／回参加）、毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2019年5月更新）⇒3年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「平成30年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成30年度スポーツエールカンパニー」の認定2年連続取得（2017年・2018年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

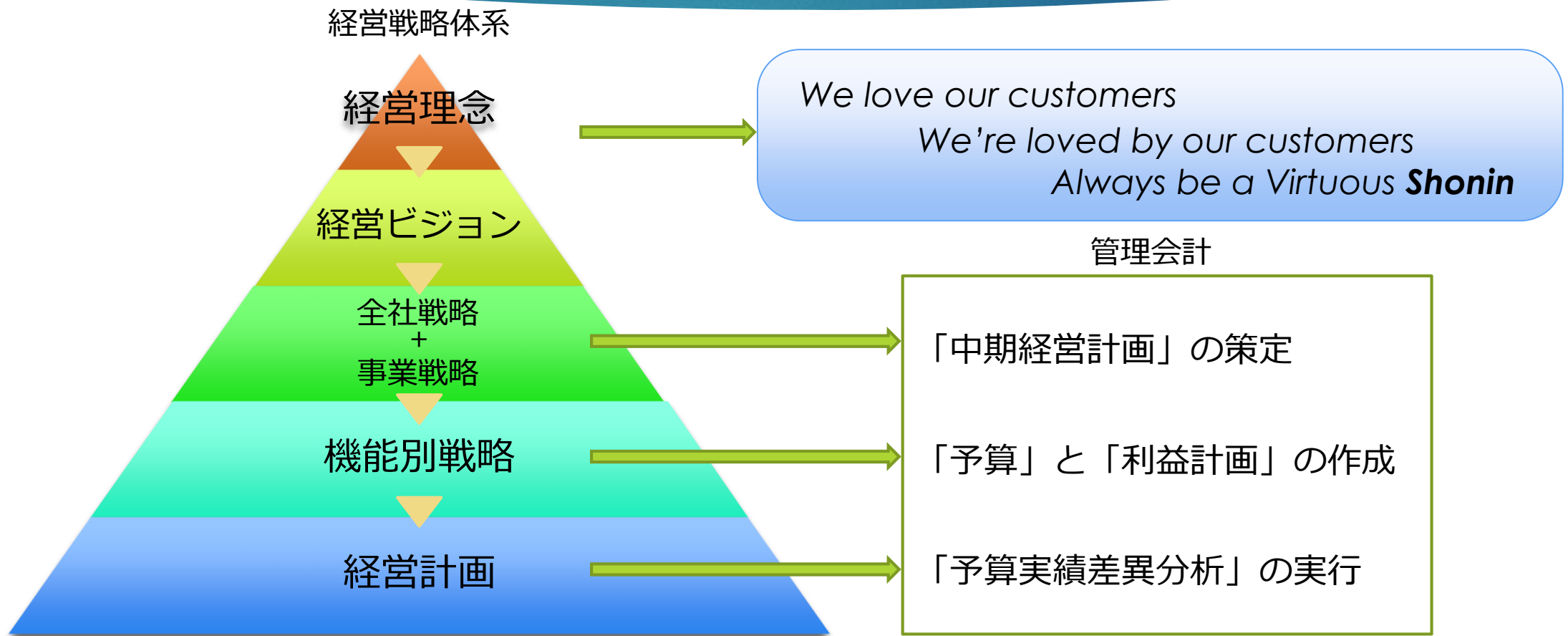
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

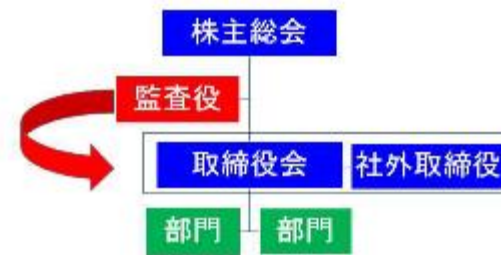
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

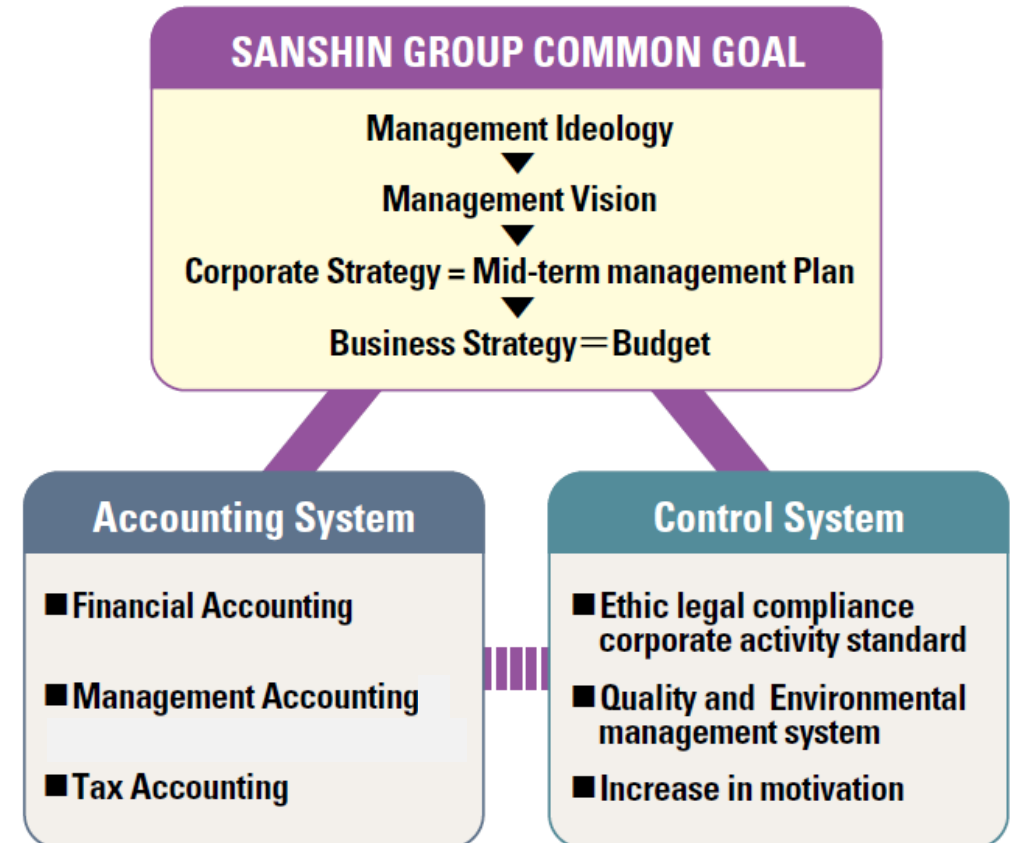
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

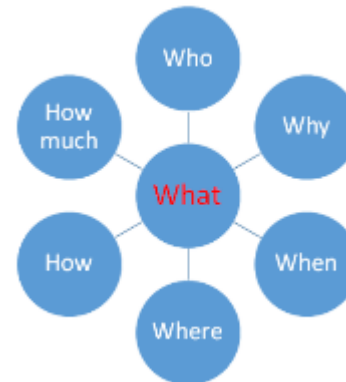
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

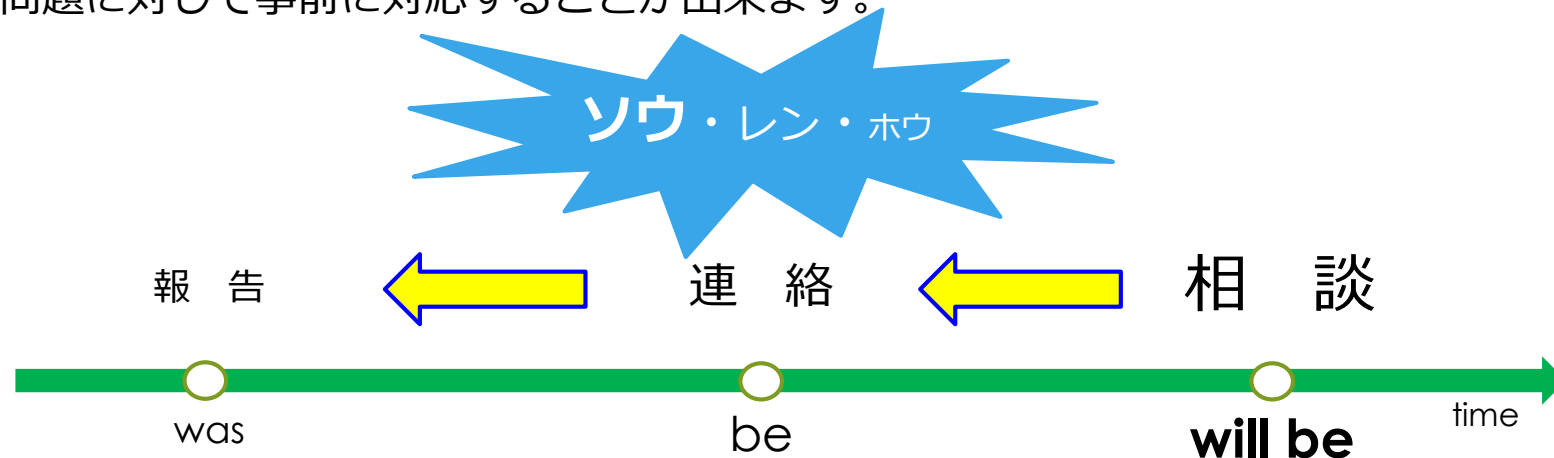


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

サンシン電気 品質管理課 H.O

長かった梅雨からいきなり猛暑が続き夏バテになりがちです。夏バテになると食欲がない、眠れない、疲れが取れないなどの症状を感じやすくなります。バランスの良い食事
で疲労回復を図る、適切な時間で質の良い睡眠をする、運動を生活習慣に取り入れるなど夏バテしない健康づくりの習慣を取り入れましょう。